



芸術文化振興ビジョン【改訂版】

平成 27 年 3 月

兵庫県では、平成 16 年に「芸術文化振興ビジョン」を策定し、「芸術文化立県ひょうご」の実現をめざして取り組んできました。このたび芸術文化を取り巻く諸情勢の変化や、本県の取組成果等を踏まえ、新たなビジョンに改定しました。

基本理念

芸術文化立県ひょうご

～芸術文化が暮らしに息づき、芸術文化で人や地域が元気になる社会の実現～

計画期間

2015 年～2020 年（平成 27 年～32 年）頃の概ね 6 年

基本方向

1 芸術文化を創造・発信する

- * 芸術文化活動を実践する層の拡大を図り、優秀な人材育成につなげます。
- * 芸術文化施設の一層の活性化を図るとともに、コーディネーター等の専門人材を育成します。
- * 東京オリンピック・関西ワールドマスタースゲームズ等も視野に入れ、観光分野とも連携し、ICT等を活用した国内外への情報発信の強化に取り組みます。

2 芸術文化の“場”を育て広げる

- * 空き施設等あらゆる場を活用し、県域文化団体や地域の芸術家の協力も得ながら、アウトリーチ活動を充実します。
- * 学校や地域と連携し、子どもたちが本物の芸術や伝統文化にふれる機会を提供します。
- * 拠点となる芸術文化施設の安全・安心で快適な施設づくりを進めます。

3 文化力を高め、地域づくりに活かす

- * 県民が自分の住むまちが有する文化資源や伝統芸能等に関心を寄せ、誇りを持つ「ふるさと意識」を高め、兵庫の文化の継承・発展に取り組みます。
- * ツーリズム振興等、観光分野との連携強化を図り、まちづくりや産業振興につなげます。

4 みんなで支え、総合的に取り組む

- * 県だけではなく、芸術家や芸術文化団体に加え、県民、企業、市町等幅広い主体の参画と協働により、県民全体で芸術文化を支え育てます。
- * 国や関西広域連合とも協調・連携を図り、県域を越えた取組を進めます。



重点取組項目



《重点1》
県民誰もが身近に芸術文化に親しむ環境の充実

- 芸術家等が地域へ出向くアウトリーチ活動の推進
- 若手芸術家の発掘・育成
- 県民の芸術文化活動への支援
- あらゆる場の活用の促進
- 青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の充実
- 学校教育との連携の推進
- 親への啓発や親子交流の促進
- 芸術家を支え育てる目を持つ観客の育成



- 伝統文化や伝統芸能等の継承・発展
- 芸術文化を通じた世代間交流の仕掛けづくり
- 学校や家庭、地域での芸術文化教育の充実
- 地域文化の発掘・保存・活用
- 文化財等地域の文化資源の活用支援
- 地域の文化力等を活用したまちづくりの推進

《重点2》
「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展

《重点3》
兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信

- ICT等を活用した多彩な芸術文化情報の発信等
- 芸術文化施設のネットワークの拡充による集客強化等、観光分野と連携した情報発信の展開
- 東京オリンピック等の機会を捉え、本県の文化力を活かした国際的な芸術文化事業を展開
- 国、関西広域連合、市町、団体、企業等との連携体制の確立



- 適切なメンテナンスによる安全・安心で快適な施設づくり
- 県内外の施設とのネットワークの拡充による利活用の促進
- 施設の効率的な運用と活性化の推進
- 施設運営への住民参画の促進

《重点4》
芸術文化施設の適切な維持・保全と活性化の推進

成果指標

《指標1》
「住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合」
H26：40.7%→H32：50%

《指標2》
「住んでいる地域で、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合」
H26：49.3%→H32：60%

※「兵庫のゆたかさ指標」より

